

2023年3月期第2四半期 決算説明資料

米国会計基準 (US GAAP)

野村ホールディングス株式会社

2022年11月

プレゼンテーションの概要

- エグゼクティブ・サマリー(P2-3)
- 2023年3月期決算の概要(P4)
- セグメント情報(P5)
- 営業部門(P6-8)
- インベストメント・マネジメント部門(P9-10)
- ホールセール部門 (P11-13)
- 金融費用以外の費用(P14)
- 強固な財務基盤を維持(P15)

Financial Supplement

- バランス・シート関連データ(P17)
- バリュースコア・リスク(P18)
- 連結決算概要(P19)
- 連結損益(P20)
- 連結決算: 主な収益の内訳(P21)
- 連結決算: セグメント情報と地域別情報 税前利益(損失)(P22)
- セグメント「その他」(P23)
- 営業部門関連データ(P24-27)
- インベストメント・マネジメント部門関連データ(P28-29)
- ホールセール部門関連データ(P30)
- 人員数(P31)

エグゼクティブ・サマリー(1/2)

2023年3月期上半期の決算ハイライト

- 税前利益:432億円(前年同期比55%減)、当期純利益¹:185億円(前年同期比64%減)、EPS²:5.91円、ROE³:1.2%
- 3セグメント合計の税前利益は497億円(前年同期比46%減)
 - 不透明な市場環境を背景に営業部門のフロー収入等が減少、インベストメント・マネジメント部門の投資損益も大幅に悪化
 - 一方で、安定収益は順調に拡大 ~営業部門のストック収入や、インベストメント・マネジメント部門の事業収益は前年同期比で増加
 - ホールセール部門業績が回復 ~マクロ関連プロダクト(金利、為替/EM)中心にフィクスト・インカムが好調、前年同期に計上した米国顧客取引に関する損失も今期は解消
- 1株当たり配当金:中間5円

	2023年3月期 上半期	2022年3月期 上半期	前年同期比		2023年3月期 上半期	2022年3月期 上半期	前年同期比	
収益(金融費用控除後)	6,170億円	6,721億円	-8%	▶ 税前利益(損失):セグメント情報	営業部門	104億円	360億円	-71%
税前利益(損失)	432億円	970億円	-55%		インベストメント・マネジメント部門	-62億円	599億円	-
当期純利益(損失) ¹	185億円	517億円	-64%		ホールセール部門	455億円	-34億円	-
EPS ²	5.91円	16.25円	-64%		3セグメント合計	497億円	926億円	-46%
ROE ³	1.2%	3.8%			その他	-18億円	-8億円	-
					営業目的で保有する投資持分証券の評価損益	-47億円	52億円	-
				税前利益(損失)合計	432億円	970億円	-55%	

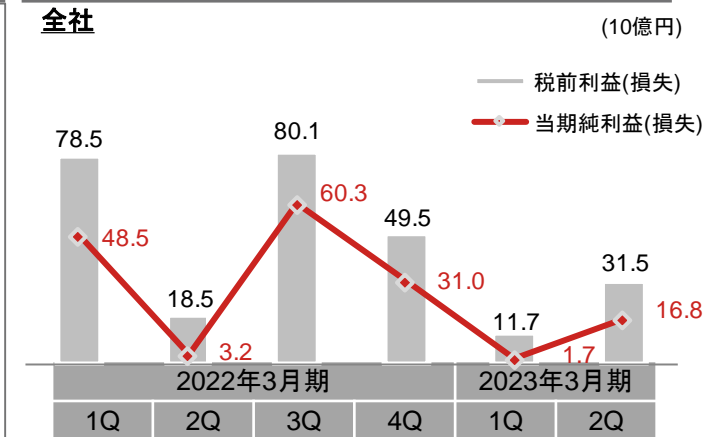
1. 当社株主に帰属する当期純利益(損失)
 2. 希薄化後一株当たり当社株主に帰属する当期純利益(損失)
 3. 各期間の当社株主に帰属する当期純利益を年率換算して算出

エグゼクティブ・サマリー(2/2)

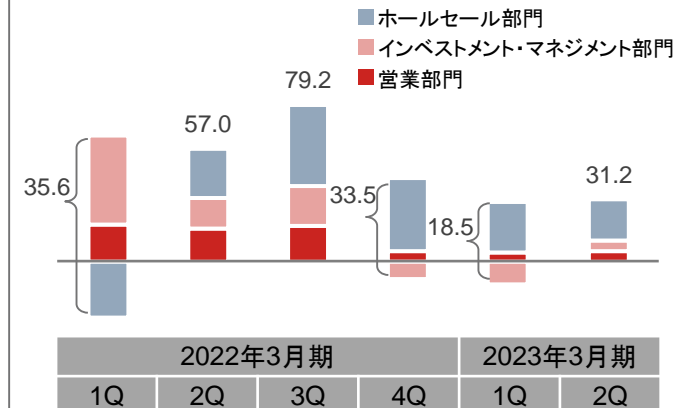
2023年3月期第2四半期の決算ハイライト

- **税前利益: 315億円(前四半期比2.7倍)、当期純利益¹: 168億円(同9.9倍)、EPS²: 5.41円、ROE³: 2.2%**
- **3セグメント税前利益は312億円 ~インベストメント・マネジメント部門の投資損益の改善により、前四半期比で69%の増益**
 - 営業部門
 - ✓ 不透明な市場環境でお客様の様子見姿勢が継続するなか、フロー収入等は低調
 - ✓ 資産拡大の取り組みが奏功し、ストック収入は健闘 ~コスト・コントロールも奏功し、ストック収入費用カバー率は51%に上昇
 - インベストメント・マネジメント部門
 - ✓ 投資信託・投資顧問ビジネスとともに資金が流入し、前四半期並みの運用報酬を達成。オルタナティブ運用資産残高は1.2兆円を突破
 - ✓ 投資損益が改善し、収益・税前利益ともに前四半期から回復
 - ホールセール部門
 - ✓ フィクスト・インカムやインベストメント・バンキング収益が伸長、円安進行も追い風となり、前四半期比で増収
- **セグメントその他の税前利益は21億円(前四半期の税前損失39億円から改善)**
 - 関連会社損益が減少する一方で、経済的ヘッジ取引に関連する損益が改善

税前利益(損失)、当期純利益(損失)¹の推移



3セグメント税前利益(損失)



1. 当社株主に帰属する当期純利益(損失)
 2. 希薄化後一株当たり当社株主に帰属する当期純利益(損失)
 3. 各期間の当社株主に帰属する当期純利益を年率換算して算出

2023年3月期決算の概要

決算ハイライト

(10億円、EPS及びROEを除く)

	2022年3月期			2023年3月期		前四半期比		前年同期比		22年3月期	23年3月期	前年同期比
	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q			上半期	上半期			
収益合計(金融費用控除後)	318.9	351.0	340.8	299.0	318.0	6%	-0.3%	672.1	617.0	-8%		
金融費用以外の費用	300.4	270.9	291.3	287.3	286.5	-0.3%	-5%	575.1	573.8	-0.2%		
税前利益(損失)	18.5	80.1	49.5	11.7	31.5	2.7x	70%	97.0	43.2	-55%		
当期純利益(損失) ¹	3.2	60.3	31.0	1.7	16.8	9.9x	5.2x	51.7	18.5	-64%		
EPS ²	1.01円	19.07円	9.89円	0.52円	5.41円	10.4x	5.4x	16.25円	5.91円	-64%		
ROE ³	0.5%	8.7%	4.3%	0.2%	2.2%			3.8%	1.2%			

1. 当社株主に帰属する当期純利益(損失)
 2. 希薄化後一株当たり当社株主に帰属する当期純利益(損失)
 3. 各期間の当社株主に帰属する当期純利益を年率換算して算出

収益合計(金融費用控除後)、税前利益(損失)

(10億円)		2022年3月期			2023年3月期				22年3月期	23年3月期	前年同期比
		2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	前四半期比	前年同期比	上半期	上半期	
収益	営業部門	85.2	87.4	70.5	71.4	72.5	2%	-15%	170.2	143.9	-15%
	インベストメント・マネジメント部門	34.3	40.1	10.1	7.6	26.2	3.5x	-24%	97.8	33.8	-65%
	ホールセール部門	172.7	202.7	194.9	199.0	205.5	3%	19%	305.4	404.5	32%
	3セグメント合計	292.2	330.2	275.4	278.0	304.2	9%	4%	573.4	582.1	2%
	その他(※)	24.8	21.6	64.2	23.9	15.6	-35%	-37%	93.5	39.6	-58%
	営業目的で保有する投資持分証券の 評価損益	1.9	-0.8	1.2	-2.8	-1.8	-	-	5.2	-4.7	-
	収益合計(金融費用控除後)	318.9	351.0	340.8	299.0	318.0	6%	-0.3%	672.1	617.0	-8%
税前利益 (損失)	営業部門	17.0	18.0	5.2	4.9	5.5	12%	-68%	36.0	10.4	-71%
	インベストメント・マネジメント部門	15.0	20.4	-8.8	-11.7	5.6	-	-63%	59.9	-6.2	-
	ホールセール部門	25.0	40.8	37.0	25.3	20.2	-20%	-19%	-3.4	45.5	-
	3セグメント合計	57.0	79.2	33.5	18.5	31.2	69%	-45%	92.6	49.7	-46%
	その他(※)	-40.4	1.7	14.9	-3.9	2.1	-	-	-0.8	-1.8	-
	営業目的で保有する投資持分証券の 評価損益	1.9	-0.8	1.2	-2.8	-1.8	-	-	5.2	-4.7	-
	税前利益(損失) 合計	18.5	80.1	49.5	11.7	31.5	2.7x	70%	97.0	43.2	-55%

(※) 第2四半期の「その他」に関する補足

- 経済的ヘッジ取引に関連する利益(1億円)
- デリバティブに関する自社およびカウンター・パーティのクレジット・スプレッドの変化に起因する損失(26億円)
- 未承認の通信プラットフォームの使用・保存を巡るSEC/CFTCの制裁金を認識(1Q:65億円、2Q:67億円)

収益合計(金融費用控除後)、税前利益/損失

(10億円)	2022年3月期			2023年3月期		前四 半期比	前年 同期比
	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q		
収益合計(金融費用控除後)	85.2	87.4	70.5	71.4	72.5	2%	-15%
金融費用以外の費用	68.2	69.3	65.3	66.5	67.0	1%	-2%
税前利益	17.0	18.0	5.2	4.9	5.5	12%	-68%

収益の内訳

(10億円)	2022年3月期			2023年3月期		前四 半期比	前年 同期比
	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q		
■ フロー収入等	51.7	52.9	38.5	39.1	38.6	-1%	-25%
■ ストック収入	33.5	34.5	31.9	32.3	33.9	5%	1%
収益合計(金融費用控除後)	85.2	87.4	70.5	71.4	72.5	2%	-15%

1. 残高から発生する収入や継続的に発生する収入(投資信託、投資一任、保険、ローン、レベルフィー等)。2022年4月にストック収入の範囲を見直したことを受け、2022年3月期以前の数字を新しい定義に合わせて遡及修正
 2. 取引に付随して発生する収入(フローカレッジ収入、コンサルティング関連収入)、ローン関連以外の金融収益等 3. リテールチャネル、国内のウェルス・マネジメント・グループが対象
 4. 地域金融機関を除く、現金および本券の流入から流出を差引 5. ストック収入を金融費用以外の費用で除したもの

決算のポイント

- 収益: 725億円 (前四半期比2%増、前年同期比15%減)
- 税前利益: 55億円 (前四半期比12%増、前年同期比68%減)

- 不透明な市場環境でお客様の様子見姿勢が継続するなか、フロー収入等は低調、一方で資産拡大の取り組みが奏功し、ストック収入は健闘

ストック収入

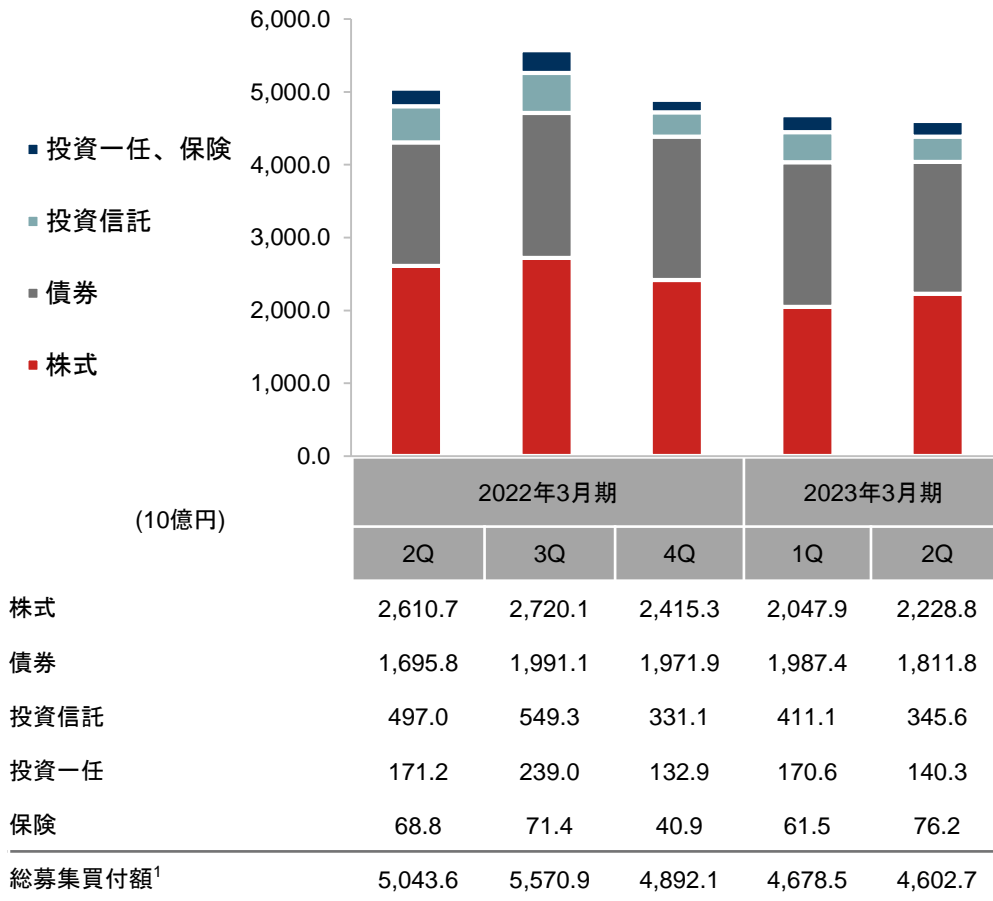
- 投資一任、ローンや保険を中心にストック資産純増が継続
- マーケットの逆風にも関わらず、ストック収入は前四半期比で伸長 ~ストック収入費用カバー率は51%に上昇
- 4月に本格導入したレベルフィー対象資産は、9月末に2,500億円を突破

フロー収入等

- 景気後退やインフレ懸念から投資マインドが低下し、投資信託や外国株式等の販売が前四半期比で減少
- 資産コンサルティング業の深化により、保険や不動産、アドバイザリーを中心にコンサルティング関連収入は前四半期比で増加

■ 資産拡大項目	2023年3月期	2023年3月期
	1Q	2Q
- 投信純増 ³	+331億円	-37億円
- 投資一任純増 ³	+956億円	+714億円
- 現金本券差引 ⁴	+5,003億円	-1,023億円
- ストック収入費用カバー率 ⁵	49%	51%

総募集買付額¹



総募集買付額¹は前四半期比2%減

- 株式: 前四半期比9%増
 - ボラタイルな市場環境下で、国内株式の買付額は増加
 - プライマリー株式募集額²は、引き続き低調(146億円、前四半期比横ばい)
- 投資信託: 前四半期比16%減
 - 7月に新規設定した「野村サステナブルセレクト」や、米国株、グローバル株投信を中心に資金が流入するも、軟調な市場環境を受けて募集買付は減少
- 債券販売額: 前四半期比9%減
 - 個人向け国債等の販売額の減少により、債券販売額は減少
- 投資一任契約: 前四半期比18%減
 - ファンドラップ契約額が前四半期比で減少
- 保険販売額: 前四半期比24%増
 - 米金利上昇による予定利率の改善が外貨建て保険の増加に寄与

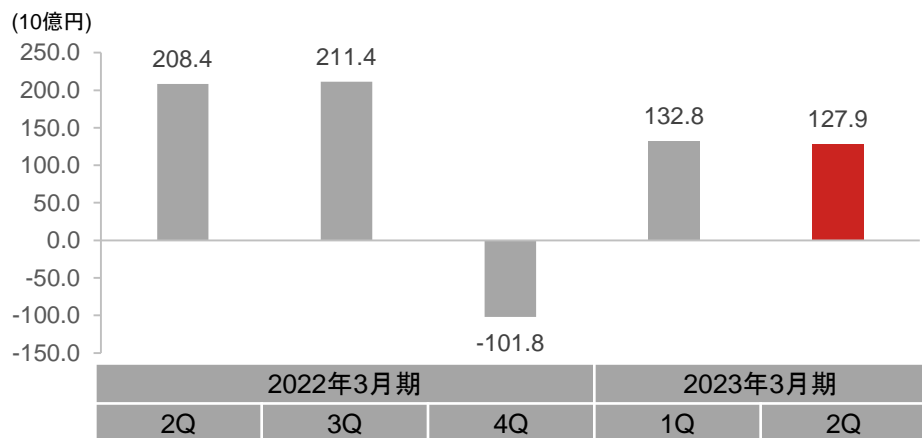
投信の販売上位ファンド(2022年7月～9月)

- 1 アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信
- 2 野村サステナブルセレクト
- 3 フィデリティ・世界割安成長株投信

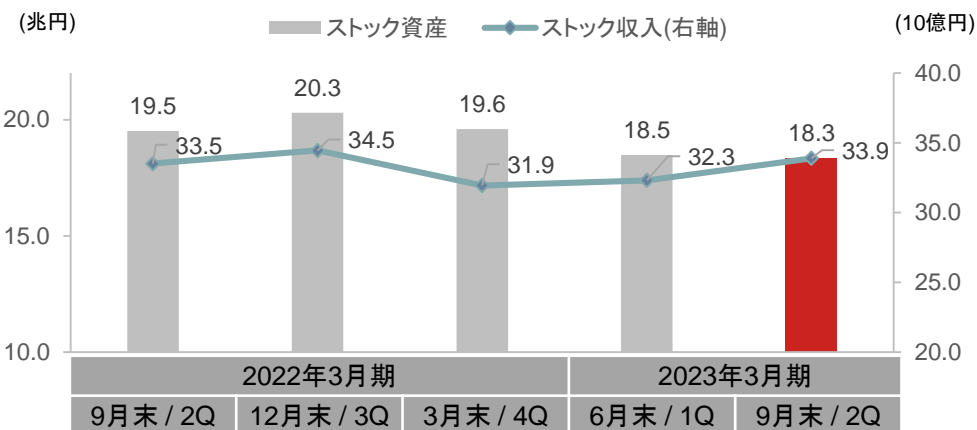
1. 2023年3月期1Qより総募集買付額の範囲を、従来のリテールチャネルのみから、リテールチャネル、国内のウェルス・マネジメント・グループ、ネット&コール、仲介に変更。それに伴い、2022年3月期の数値を新定義に置き換えて表示
 2. リテールチャネル、国内のウェルス・マネジメント・グループ、ネット&コール、ほっとダイレクトが対象

営業部門:KPIサマリー

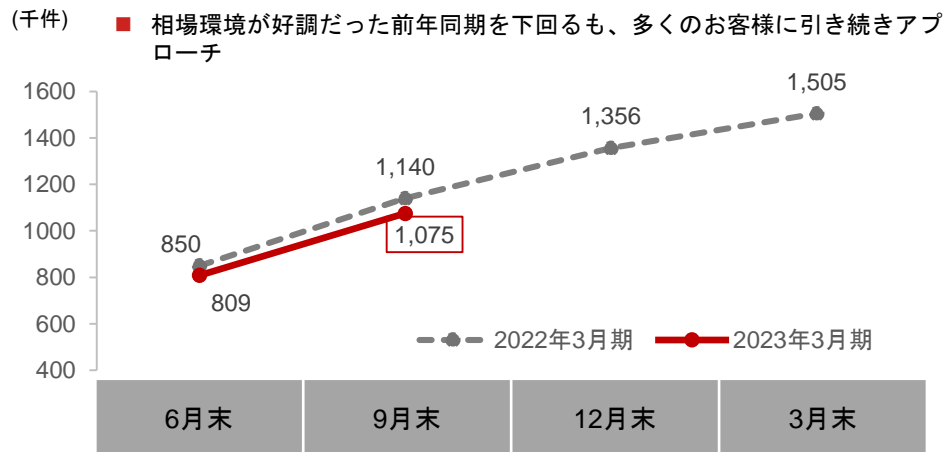
ストック資産純増¹



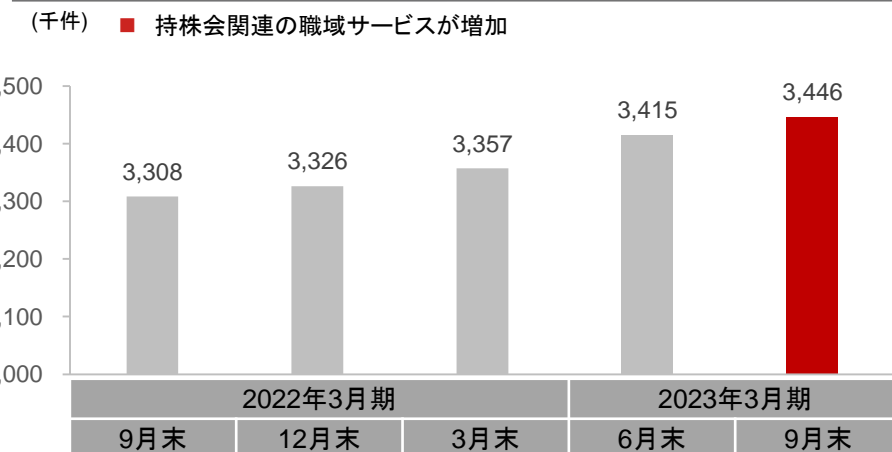
ストック資産およびストック収入²



フロービジネス顧客数



職域サービス提供数



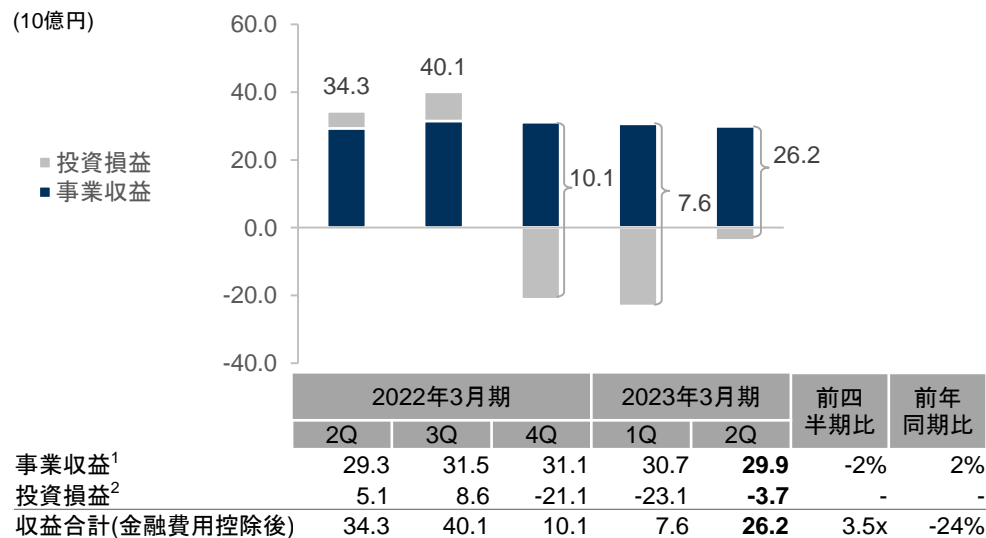
1. 合計は投信分配金、及びレベルファイロ座内の投信純増を控除した数値
 2. 2022年4月にストック収入の範囲を見直したことを受け、2022年3月期以前の数字を新しい定義に合わせて遡及修正

インベストメント・マネジメント部門

収益合計(金融費用控除後)、税前利益/損失

(10億円)	2022年3月期			2023年3月期		前四 半期比	前年 同期比
	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q		
収益合計(金融費用控除後)	34.3	40.1	10.1	7.6	26.2	3.5x	-24%
金融費用以外の費用	19.3	19.8	18.9	19.3	20.6	7%	7%
税前利益/損失	15.0	20.4	-8.8	-11.7	5.6	-	-63%

収益の内訳



1. 投資損益を除き、アセット・マネジメント事業(ACI関連損益を除く)及び野村パブコックアンドブラウンの航空機リース関連事業の収益並びにプライベート・エクイティ等の投資事業から得られるGP管理報酬を含む収益で構成
 2. ACI関連損益、プライベート・エクイティ等の投資事業のLP持分及びGP持分並びにめぶきフィナンシャル・グループの投資損益を含む投資に起因する収益(公正価値の変動、資金調達コスト、運用報酬、配当金を含む)で構成

決算のポイント

- 収益:262億円(前四半期比3.5倍、前年同期比24%減)
- 税前利益:56億円(前年同期比63%減)
 - 投資損益の改善により、収益・税前利益ともに前四半期から回復

事業収益

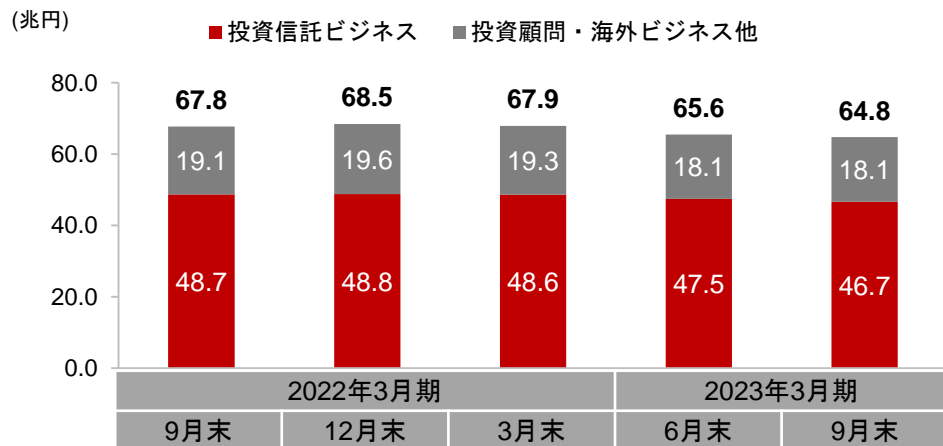
- 収益:299億円(前四半期比2%減、前年同期比2%増)
 - アセット・マネジメント・ビジネスは引き続き堅調 ~不安定なマーケット環境が継続も、投資信託ビジネス、投資顧問・海外ビジネスともに資金が流入し、前四半期並みの運用報酬を達成
 - 一方、成功報酬は前四半期比で減少

投資損益

- 収益:-37億円
 - アメリカン・センチュリー・インベストメンツ(以下ACI)関連損益のマイナス幅は前四半期から減少
 - 野村キャピタル・パートナーズの投資先企業の評価損益が大きく改善

インベストメント・マネジメント部門： 投資信託および機関投資家向けビジネスで資金が流入

運用資産残高(ネット)¹



市場要因で運用資産残高は減少も、高水準を維持(AUM期中平均残高:66.2兆円)

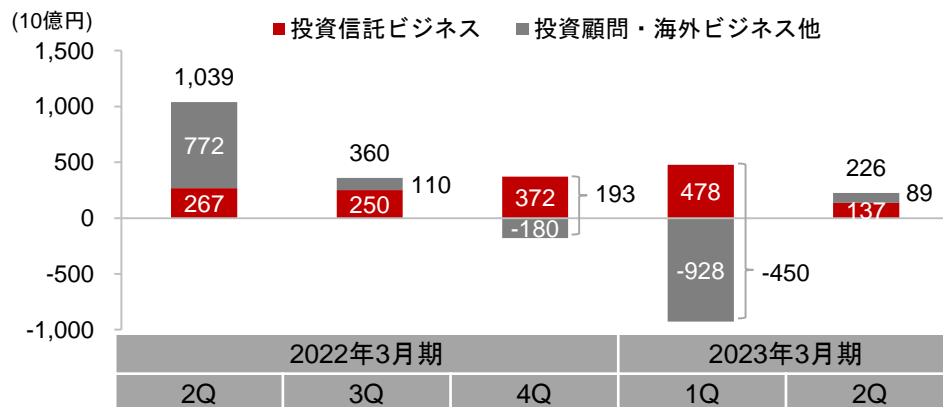
■ 投資信託ビジネス

- MRF等で資金流出(約1,600億円)も、コア投信⁴では資金が流入(約3,000億円)
- 野村証券チャンネルでは、非上場リート投信や7月末に新規設定したESG投信を中心に資金が流入
- 銀行等チャンネルでは6四半期連続で資金が流入(9月末残高:2.2兆円)
- 確定拠出年金(DC)専用投信でも資金流入が継続(9月末残高:1.8兆円、残高シェア⁵:20.5%)

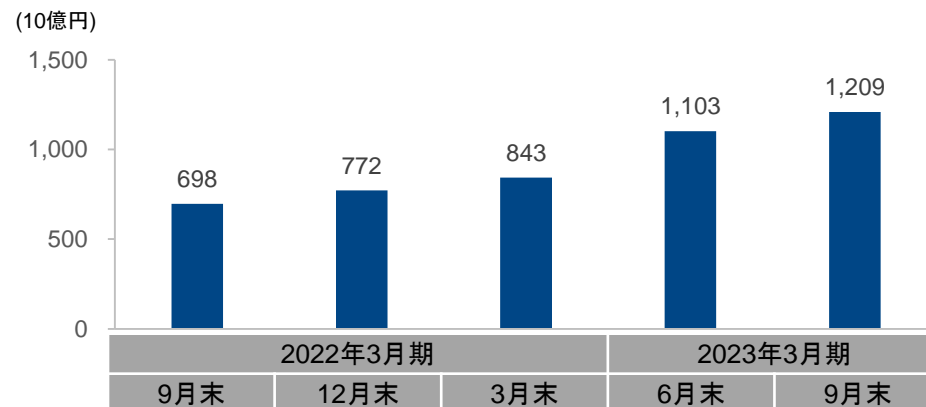
■ 投資顧問及び海外ビジネス他

- 国内では、オルタナティブ運用等を中心に資金が流入
- 海外では、株式運用を中心に資金が流入

資金純流入^{2,3}



オルタナティブ運用資産残高も順調に拡大^{3,6}



1. 運用資産残高には、野村アセットマネジメント、ノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネジメント、ウエルス・スクエアの運用資産の単純合計(グロス)から重複資産を控除したものに、野村スパークス・インベストメント、野村メザニン・パートナーズ、野村キャピタル・パートナーズ及び野村リサーチ・アンド・アドバイザーに対する第三者による投資額を含む
 2. 運用資産残高(ネット)に基づく
 3. 2023年3月期1Qに運用資産残高及び資金流入の測定方法を見直したことに伴い、過年度の数値を組み替えて表示
 4. ETFを除く
 5. 公表データを元に当社で算出
 6. 野村アセットマネジメントのオルタナティブ運用資産残高並びに野村スパークス・インベストメント、野村メザニン・パートナーズ、野村キャピタル・パートナーズ及び野村リサーチ・アンド・アドバイザーに対する第三者による投資額の合計

ホールセール部門

収益合計(金融費用控除後)、税前利益/損失²

(10億円)	2022年3月期			2023年3月期		前四 半期比	前年 同期比
	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q		
収益合計(金融費用控除後)	172.7	202.7	194.9	199.0	205.5	3%	19%
金融費用以外の費用	147.7	161.9	157.9	173.7	185.3	7%	25%
税前利益/損失	25.0	40.8	37.0	25.3	20.2	-20%	-19%
経費率	86%	80%	81%	87%	90%		
収益/調整リスク・アセット ¹	7.1%	8.2%	7.9%	7.3%	7.1%		

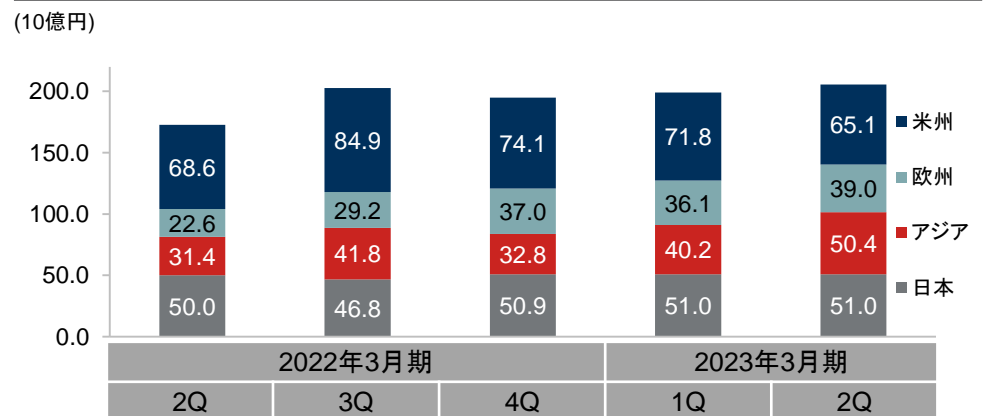
ビジネスライン別の収益

(10億円)	2022年3月期			2023年3月期		前四 半期比	前年 同期比
	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q		
グローバル・マーケット	137.2	163.8	158.2	175.3	177.5	1%	29%
インベストメント・バンキング	35.4	38.9	36.7	23.7	28.0	18%	-21%
収益合計(金融費用控除後)	172.7	202.7	194.9	199.0	205.5	3%	19%

決算のポイント

- 収益: 2,055億円 (前四半期比3%増、前年同期比19%増)
- 税前利益: 202億円 (前四半期比20%減、前年同期比19%減)
- 前四半期比・前年同期比ともに増収を確保
 - 円安進行もあり、グローバル・マーケットは前四半期並みの収益 ~マクロ・プロダクトを中心にフィクスト・インカム収益が伸長、先行き不透明感が継続するなかでエクイティは低調
 - インベストメント・バンキングはアドバイザーやソリューション収益が回復し、前四半期比で増収
- 今期の業績に応じた賞与や支払手数料等の変動費が減少する一方、円安進行や、事業促進費等の細かい費用の積み上がりで部門コストが上昇

地域別収益



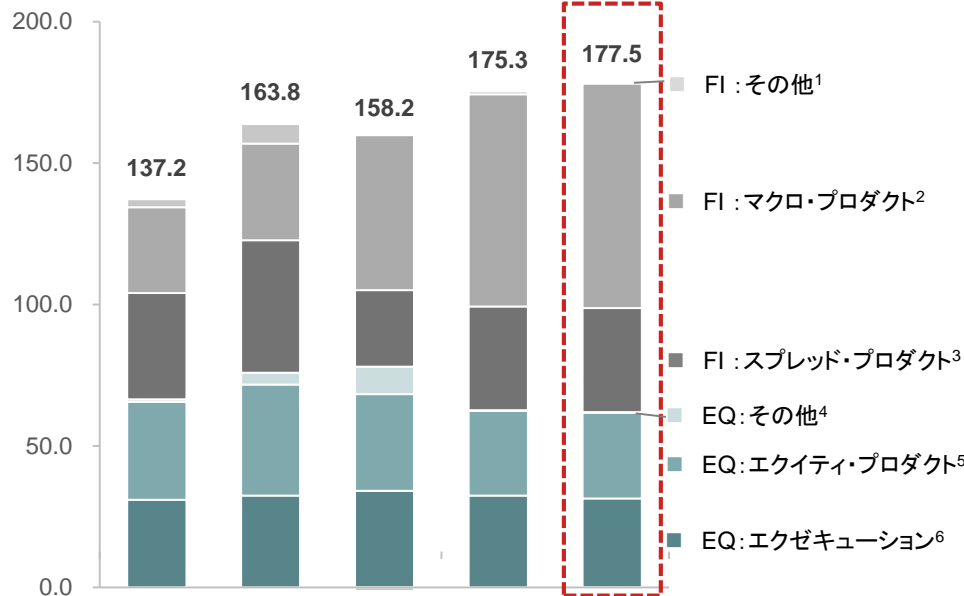
1. ホールセール部門収益合計(金融費用控除後、年換算)を、ホールセール部門が使用する調整リスク・アセット(各会計期間の日次平均)で除したものを、調整リスク・アセット(各会計期間の日次平均)は米国会計原則に基づかない指標で、(1)バーゼル3規制のリスク・アセットと、(2)バーゼル3規制の資本調整項目を当社が内部で設定する最低資本比率で除して算出したリスク・アセット相当額の合計

2. 米国顧客取引に起因して、損失に関する債権の一部について回収可能額が合理的に見積もれるようになった為、2022年3月期3Qに32億円(うち26億円はトレーディング収益、5億円は貸倒引当金の戻入)、2022年3月期4Qに115億円(うち95億円はトレーディング収益、20億円は貸倒引当金の戻入)の利益を計上

ホールセール部門:グローバル・マーケット

収益合計(金融費用控除後)

(10億円)



	2022年3月期			2023年3月期		前四半期比	前年同期比
	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q		
フィクスト・インカム(FI)	70.7	88.0	80.1	112.6	115.6	3%	63%
エクイティ(EQ)	66.5	75.8	78.1	62.6	61.9	-1%	-7%
グローバル・マーケット	137.2	163.8	158.2	175.3	177.5	1%	29%

決算のポイント

- 収益:1,775億円(前四半期比1%増、前年同期比29%増)
 - 先行き不透明感が継続するなか、エクイティは低調も、マクロ・プロダクトが好調なフィクスト・インカムが貢献し、グローバル・マーケット収益は前四半期比で増収

フィクスト・インカム

- 収益:1,156億円(前四半期比3%増、前年同期比63%増)
 - マクロ・プロダクト:ボラティリティ上昇を背景とした顧客アクティビティを捉え、為替/エマージングが収益を牽引、金利プロダクトは非常に好調だった前四半期から減収も、引き続き堅調
 - スプレッド・プロダクト:不透明な環境下、証券化商品は前四半期比で小幅減収、クレジットは底堅く推移

エクイティ

- 収益:619億円(前四半期比1%減、前年同期比7%減)
 - エクイティ・プロダクト:総じて顧客アクティビティが低調に推移するなか、前四半期並みの収益を維持
 - エクゼキューション:市場の取引量がグローバルに低下し、前四半期比で小幅減収

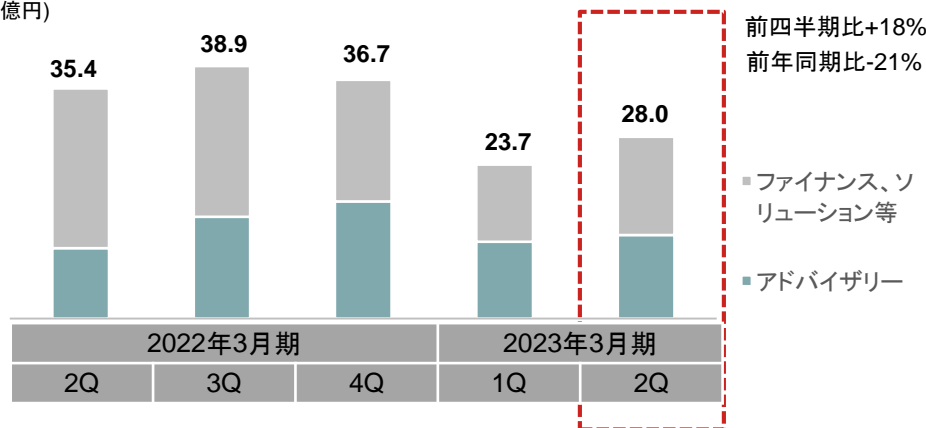
1. インターナショナル・ウェルス・マネジメント、インベストメント・バンキングとの共管ビジネス、その他各デスクに帰属しない損益 2. 金利プロダクト、為替/エマージング 3. クレジット、証券化商品 4. インベストメント・バンキングとの共管ビジネス、米国顧客取引に起因する損益(米国顧客取引に起因するトレーディング損失に関する債権の一部について回収可能額が合理的に見積もれるようになった為、2022年3月期3Qに26億円、2022年3月期4Qに95億円の利益をトレーディング損益として計上) 5. キャッシュおよびデリバティブのトレーディング、プライム・サービス 6. 株式執行ビジネス

ホールセール部門: インベストメント・バンキング

■ サステナビリティ関連

収益合計(金融費用控除後)

(10億円)



決算のポイント

- 収益: 280億円 (前四半期比18%増、前年同期比21%減)
 - アドバイザリーやソリューション案件が貢献し、前四半期比で増収
 - 不透明な市場環境や地政学リスクにより、ECMやALFは、引き続き低調

アドバイザリー

- サステナビリティ関連やクロスボーダー案件の貢献もあり、日本・欧州・アジアは増収を確保
- エクイティ・プライベートプレースメント案件も引き続き収益に貢献

ファイナンス、ソリューション等¹

- ECM: 企業の株式発行や新規上場は引き続き低調も、日本関連ECMおよびIPOリーグテーブルでは首位継続²
- DCM: ESG/SDGs債の発行を複数サポートし、前四半期並みの水準を確保
- 市場の変化をとらえ、株式、金利、為替等の幅広いソリューション案件を執行

不安定なビジネス環境下においても、グローバル連携を活かし案件執行

■ クロスボーダーやサステナビリティ関連の案件を多数公表

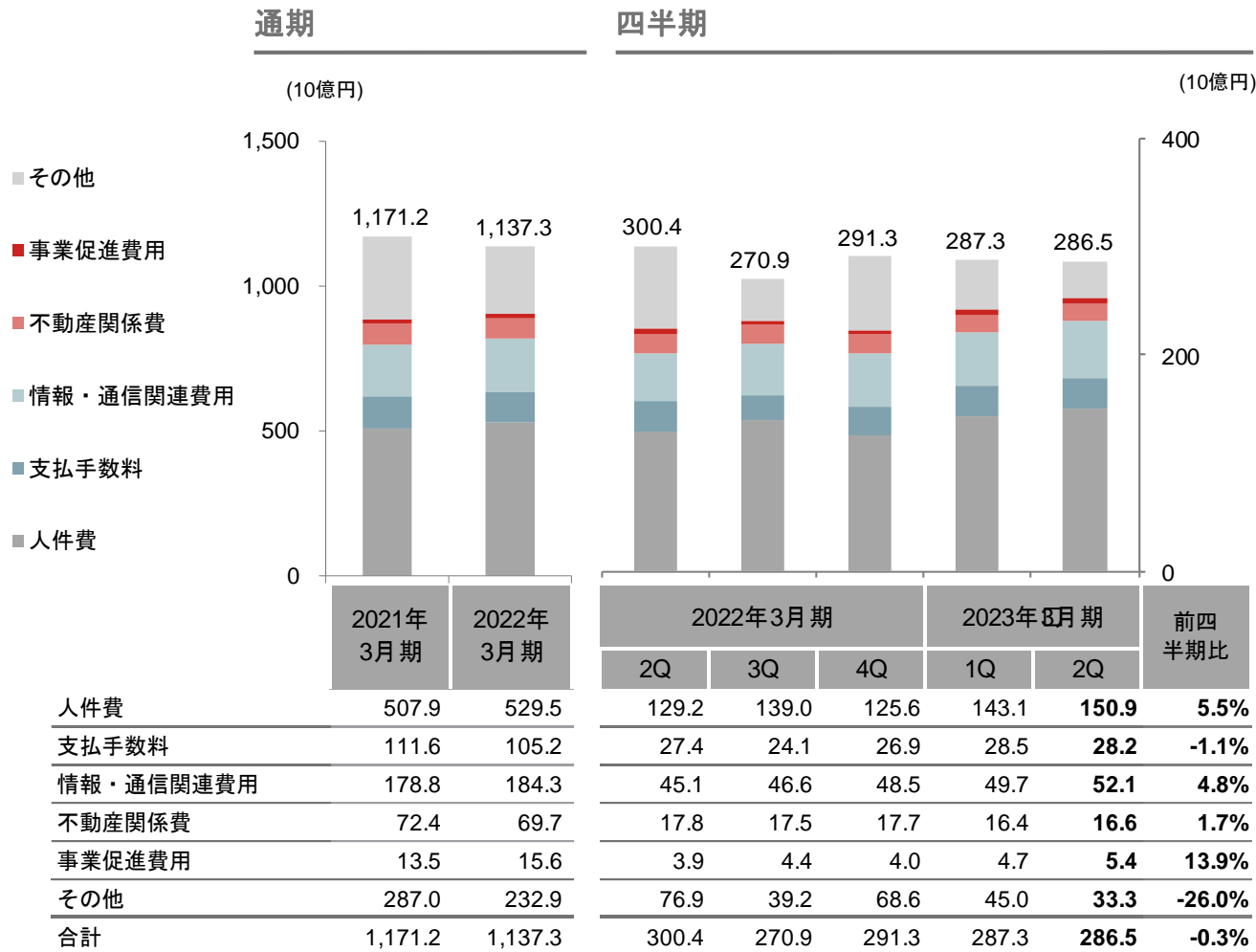
アドバイザリー	グリッドサーブ サステナブル エネルギー (英) プライベートプレースメント (GBP200m)	第一生命ホールディングスによるPartners Group (NZ)の完全子会社化 (NZD980m) / Yu Life (英)への出資 (GBP101m)	Remgro (南ア)によるMediclinic International (南ア)買収 (GBP4.1bn)
	Clean Energy Associates (米)のIntertek Group (英)への売却 (非開示)	Kronos Solar (独)によるEDP Renovaveis (スペイン)への売却 (€250m)	BC Partners (英)によるFedrigoni (伊)株式 (50%)取得 (€2.6bn)

■ 外貨建て債を中心に様々な資金調達をサポート

NTTファイナンス ドル建てグリーン債券 (\$1.5bn)	東日本旅客鉄道 ユーロ建て債 (€1.2bn)	欧州委員会 (ベルギー) ネクストジェネレーション EU債券 (€12.0bn)
Export-Import Bank of Korea (韓) ドル建て債 (\$2.5bn)	メキシコ合衆国 サムライ債 (SDG債) (756億円)	JMDC 海外売出 (203億円)
Thai Life Insurance (タイ) IPO (THB34.5bn)	Sona BLW Precision Forgings (印) PO (Stake sale by Blackstone Advisors India) (INR40.5bn)	ジョイフル本田 コミットメント型自己株式取得 (FCSR) ³ (25億円)

1. ECM, DCM, 買収/レバレッジド・ファイナンス、グローバル・マーケットとの共管ビジネス、その他各プロダクトに帰属しない損益
 2. 出所: Refinitiv 2022年1月~9月
 3. Fully Committed Share Repurchase ~本邦初の「一括取得型」の自己株式取得取引

金融費用以外の費用



決算のポイント

- 金融費用以外の費用: 2,865億円 (前四半期比0.3%減)
 - 人件費(前四半期比5%増)
 - ✓ 円安進行が影響し、人件費が増加
 - ✓ また認識タイミングの期ズレ等が、賞与を若干押し上げ
 - 情報・通信関連費用(前四半期比5%増)
 - ✓ 円安進行による影響に加え、米州でハードウェアのレンタル費用が増加
 - その他費用(前四半期比26%減)
 - ✓ 未承認の通信プラットフォームの使用・保存を巡るSEC/CFTCの制裁金を認識 (1Q: 65億円、2Q: 67億円)
 - ✓ その他の法的費用は前四半期比で減少

強固な財務基盤を維持

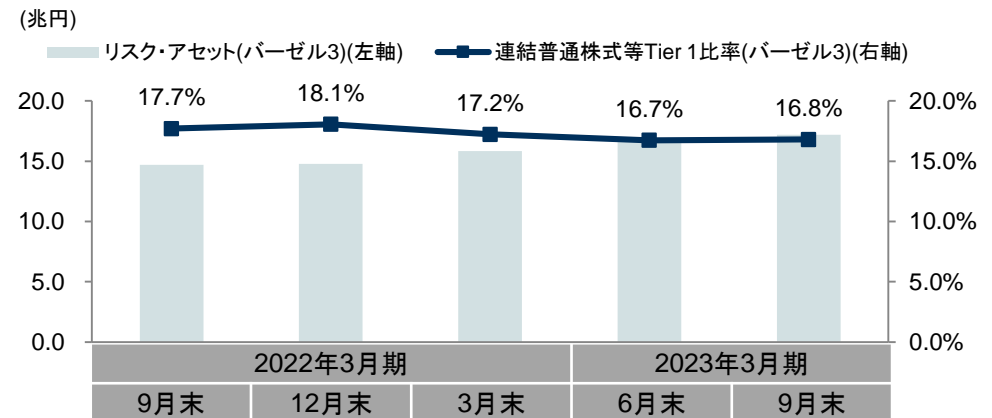
バランス・シート関連指標と連結総自己資本規制比率

	2022年 3月末	2022年 6月末	2022年 9月末
■ 資産合計	43.4兆円	48.9兆円	51.5兆円
■ 当社株主資本	2.9兆円	3.1兆円	3.2兆円
■ グロス・レバレッジ	14.9倍	16.0倍	16.3倍
調整後レバレッジ ¹	9.1倍	9.7倍	9.7倍
■ レベル3資産 ² (デリバティブ負債相殺後)	0.8兆円	0.9兆円	0.9兆円
■ 流動性ポートフォリオ	7.1兆円	7.1兆円	7.7兆円

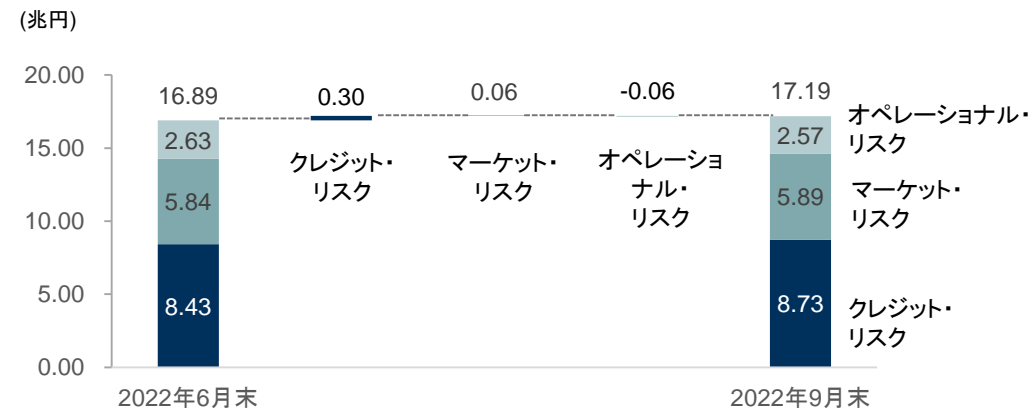
(10億円)	2022年 3月末	2022年 6月末	2022年 9月末 ²
バーゼル3ベース			
Tier 1資本	3,103	3,198	3,282
Tier 2資本	0.4	0.4	0.4
総自己資本の額	3,103	3,198	3,282
リスク・アセット	15,830	16,893	17,190
連結Tier 1比率	19.6%	18.9%	19.0%
連結普通株式等Tier 1比率 ³	17.2%	16.7%	16.8%
連結総自己資本規制比率	19.6%	18.9%	19.0%
連結レバレッジ比率 ⁴	5.98%	5.52%	5.43%
適格流動資産(HQLA) ⁵	6.0兆円	5.6兆円	5.9兆円
連結流動性カバレッジ比率(LCR) ⁵	241.7%	189.4%	194.8%
TLAC比率(リスクアセット・ベース)	30.7%	30.4%	32.4%
TLAC比率(総エクスポージャーベース)	10.30%	9.76%	10.08%

1. 調整後レバレッジは、総資産の額から売却条件付買入有価証券および借入有価証券担保金の額を控除した額を、当社株主資本の額で除して得られる比率
 3. 連結普通株式等Tier 1比率: Tier 1資本から、その他Tier1資本を控除し、リスク・アセットで除したものの
 4. Tier 1資本を、エクスポージャー額(オンバランス項目+オフバランス項目)で除したものの
 5. 四半期の日次平均の値

リスク・アセット、連結普通株式等Tier 1比率³



リスク・アセットの変動²



2. 2022年9月末は暫定数値

Financial Supplement

バランス・シート関連データ

連結貸借対照表

(10億円)

	2022年 3月末	2022年 9月末	前期比 増減		2022年 3月末	2022年 9月末	前期比 増減
資産				負債			
現金・預金	4,064	4,406	343	短期借入	1,050	1,274	224
貸付金および受取債権	5,001	5,965	964	支払債務および受入預金	4,920	5,872	952
担保付契約	16,876	20,841	3,964	担保付調達	14,538	17,877	3,339
トレーディング資産および プライベートエクイティ・デット投資 ¹	15,296	18,138	2,842	トレーディング負債	9,652	12,212	2,560
その他の資産 ¹	2,175	2,182	7	その他の負債	1,020	975	-46
資産合計	43,412	51,532	8,120	長期借入	9,258	10,095	836
				負債合計	40,439	48,305	7,865
				資本			
				当社株主資本合計	2,915	3,163	248
				非支配持分	58	64	6
				負債および資本合計	43,412	51,532	8,120

1. 担保差入有価証券を含む

バリュー・アット・リスク¹

■ VaRの前提

- 信頼区間 : 95%
- 保有期間 : 1日
- 商品の価格変動等を考慮

■ VaRの実績(10億円)

- 期間 : 2022.4.1~2022.9.30
- 最大 : 6.3
- 最小 : 2.7
- 平均 : 4.1

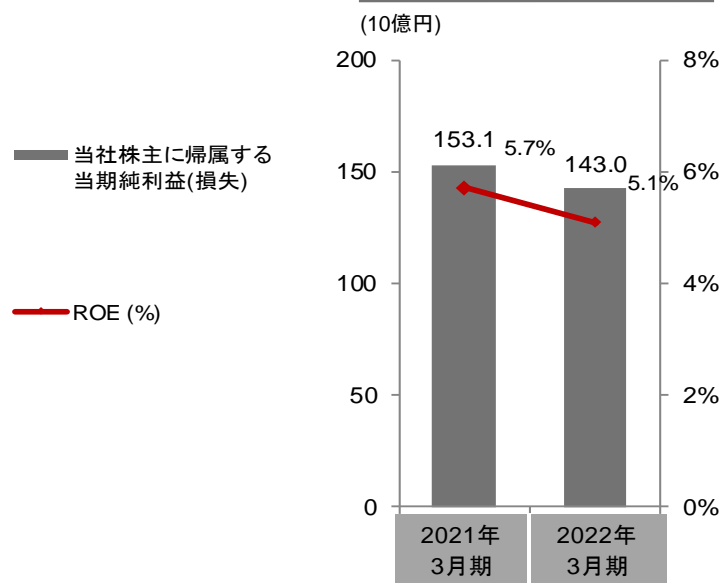
(10億円)

	2021年	2022年	2022年3月期			2023年3月期	
	3月期	3月期	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末
株式関連	22.8	1.4	2.8	2.1	1.4	1.7	2.4
金利関連	3.3	2.3	2.1	2.3	2.3	4.8	3.7
為替関連	3.6	0.9	0.8	1.6	0.9	1.8	1.6
小計	29.7	4.6	5.6	6.0	4.6	8.4	7.7
分散効果	-6.2	-1.9	-1.8	-1.9	-1.9	-3.4	-2.8
連結VaR	23.5	2.7	3.8	4.1	2.7	5.0	4.9

1. 2022年3月期第4四半期の開示よりVaRの信頼区間を99%から95%に変更

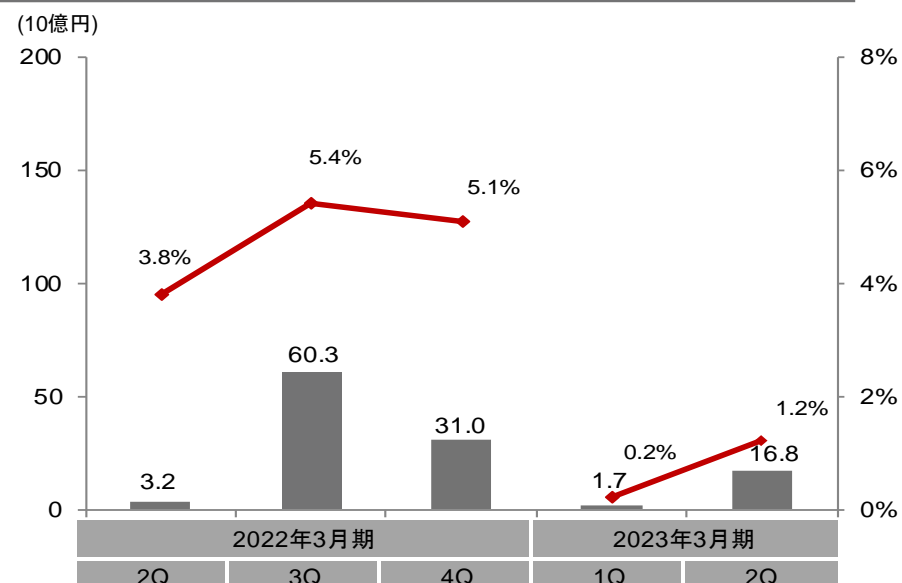
連結決算概要

通期



収益合計(金融費用控除後)	1,401.9	1,363.9
税引前当期純利益(損失)	230.7	226.6
当社株主に帰属する当期純利益(損失)	153.1	143.0
当社株主資本合計	2,694.9	2,914.6
ROE(%) ¹	5.7%	5.1%
1株当たり当社株主に帰属する当期純利益(損失)(円)	50.11	46.68
希薄化後1株当たり当社株主に帰属する当期純利益(損失)(円)	48.63	45.23
1株当たり株主資本(円)	879.79	965.80

四半期



項目	2022年2Q	2022年3Q	2022年4Q	2023年1Q	2023年2Q
収益合計(金融費用控除後)	318.9	351.0	340.8	299.0	318.0
税引前当期純利益(損失)	18.5	80.1	49.5	11.7	31.5
当社株主に帰属する当期純利益(損失)	3.2	60.3	31.0	1.7	16.8
当社株主資本合計	2,734.1	2,807.9	2,914.6	3,055.5	3,163.0
ROE(%) ¹	3.8%	5.4%	5.1%	0.2%	1.2%
1株当たり当社株主に帰属する当期純利益(損失)(円)	1.04	19.66	10.26	0.56	5.59
希薄化後1株当たり当社株主に帰属する当期純利益(損失)(円)	1.01	19.07	9.89	0.52	5.41
1株当たり株主資本(円)	883.46	931.06	965.80	1,017.18	1,053.91

1. 四半期のROEは、各決算期累計の当期純利益を年率換算して算出

連結損益

(10億円)	通期		四半期				
	2021年 3月期	2022年 3月期	2022年3月期			2023年3月期	
			2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
収益							
委託・投信募集手数料	376.9	332.3	91.6	82.6	75.2	70.4	68.2
投資銀行業務手数料	108.7	149.6	33.9	46.0	34.0	27.3	24.2
アセットマネジメント業務手数料	230.0	270.0	67.2	69.9	68.9	68.3	69.0
トレーディング損益	310.0	368.8	91.1	106.8	118.9	141.9	160.9
プライベートエクイティ・デット投資関連損益	12.7	30.8	0.5	4.6	-0.3	-4.5	5.7
金融収益	356.5	284.2	69.9	82.6	67.1	109.0	196.9
投資持分証券関連損益	14.1	5.4	2.1	-2.6	2.5	-1.7	-1.5
その他	208.3	152.8	22.9	13.8	39.6	-0.7	10.5
収益合計	1,617.2	1,594.0	379.2	403.8	405.9	410.0	533.9
金融費用	215.4	230.1	60.3	52.8	65.1	110.9	215.9
収益合計(金融費用控除後)	1,401.9	1,363.9	318.9	351.0	340.8	299.0	318.0
金融費用以外の費用	1,171.2	1,137.3	300.4	270.9	291.3	287.3	286.5
税引前当期純利益(損失)	230.7	226.6	18.5	80.1	49.5	11.7	31.5
当社株主に帰属する当期純利益(損失)	153.1	143.0	3.2	60.3	31.0	1.7	16.8

連結決算：主な収益の内訳

(10億円)	通期		四半期					
	2021年 3月期	2022年 3月期	2022年3月期			2023年3月期		
			2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	
委託・投信 募集手数料	委託手数料-株式	262.3	236.4	67.7	57.3	53.1	48.4	48.5
	委託手数料-株式以外	14.3	18.0	4.0	4.8	5.5	4.8	4.7
	投信募集手数料	68.8	43.7	11.2	11.6	6.5	7.5	6.4
	その他手数料	31.6	34.3	8.8	8.9	10.1	9.7	8.6
	合計	376.9	332.3	91.6	82.6	75.2	70.4	68.2
投資銀行 業務手数料	株式	30.6	33.1	10.3	9.8	3.1	3.7	1.6
	債券	23.1	29.8	6.1	10.0	6.3	6.7	4.5
	M&A・財務コンサルティングフィー	37.8	64.2	13.7	17.5	20.0	14.0	14.3
	その他	17.2	22.4	3.8	8.7	4.6	2.8	3.8
	合計	108.7	149.6	33.9	46.0	34.0	27.3	24.2
アセット マネジメント 業務手数料	アセットマネジメントフィー	150.2	171.1	42.0	44.0	44.4	43.7	43.2
	アセット残高報酬	63.2	79.6	20.4	20.8	19.5	19.0	19.6
	カストディアルフィー	16.6	19.4	4.8	5.0	4.9	5.6	6.2
	合計	230.0	270.0	67.2	69.9	68.9	68.3	69.0

連結決算:セグメント情報と地域別情報 税前利益(損失)

連結決算数値とセグメント数値間の調整:税前利益(損失)¹

(10億円)	通期		四半期				
	2021年 3月期	2022年 3月期	2022年3月期			2023年3月期	
			2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
営業部門	92.3	59.2	17.0	18.0	5.2	4.9	5.5
インベストメント・マネジメント部門	91.0	71.5	15.0	20.4	-8.8	-11.7	5.6
ホールセール部門	64.3	74.5	25.0	40.8	37.0	25.3	20.2
3セグメント合計税前利益	247.6	205.2	57.0	79.2	33.5	18.5	31.2
その他	-28.5	15.8	-40.4	1.7	14.9	-3.9	2.1
セグメント合計税前利益	219.1	221.0	16.6	80.9	48.4	14.6	33.3
営業目的で保有する 投資持分証券の評価損益	11.5	5.6	1.9	-0.8	1.2	-2.8	-1.8
税前利益(損失)	230.7	226.6	18.5	80.1	49.5	11.7	31.5

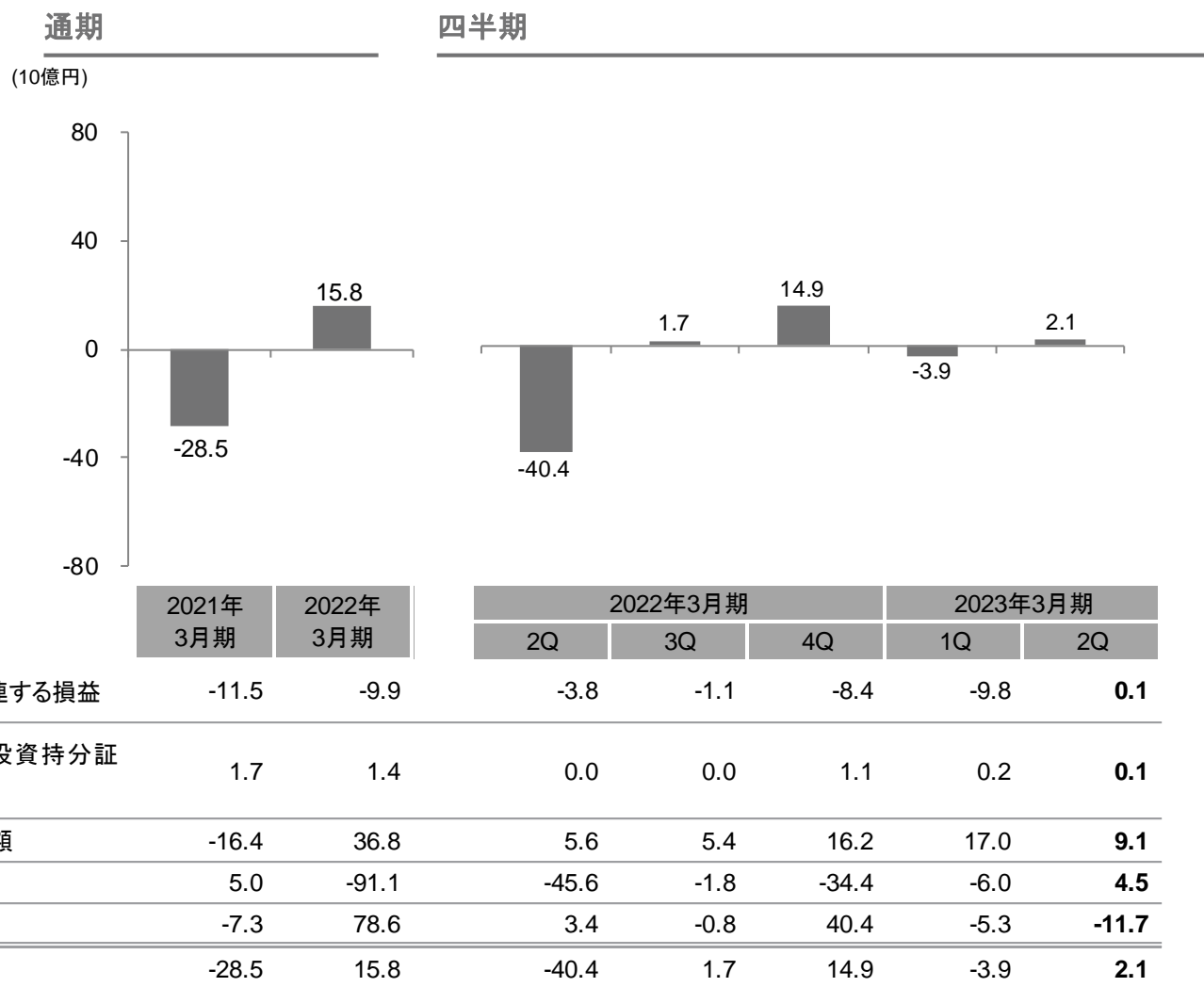
地域別情報:税前利益(損失)²

(10億円)	通期		四半期				
	2021年 3月期	2022年 3月期	2022年3月期			2023年3月期	
			2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
米州	-77.0	-41.0	-17.2	32.2	-19.4	-21.6	-21.4
欧州	14.3	-21.8	-8.9	-3.4	-4.2	-1.9	6.4
アジア・オセアニア	49.2	28.6	7.1	11.0	3.9	8.3	15.6
海外合計	-13.5	-34.1	-19.0	39.8	-19.7	-15.2	0.6
日本	244.1	260.8	37.5	40.3	69.2	26.9	30.9
税前利益(損失)	230.7	226.6	18.5	80.1	49.5	11.7	31.5

- 2021年4月1日付でアセット・マネジメント部門およびマーチャント・バンキング部門を廃止し、インベストメント・マネジメント部門を新設。これに伴い、2022年3月期の開示様式に合わせて過年度の数値を組み替えて表示
- 米国会計原則に基づく「地域別情報」を記載(但し当第2半期の数値は速報値)。米国会計原則に基づく「地域別情報」は、その収益および費用の各地域への配分が原則として役務の提供される法的主体の所在国に基づき行われており、当社において経営管理目的で用いられているものではありません

セグメント「その他」

税前利益(損失)¹



1. 2021年4月1日付でアセット・マネジメント部門およびマーチャント・バンキング部門を廃止し、インベストメント・マネジメント部門を新設。これに伴い、2022年3月期の開示様式に合わせて過年度の数値を組み替えて表示

営業部門関連データ(1)

(10億円)	通期		四半期						
	2021年 3月期	2022年 3月期	2022年3月期			2023年3月期		前四 半期比	前年 同期比
			2Q	3Q	4Q	1Q	2Q		
委託・投信募集手数料	187.7	138.5	35.6	36.5	27.8	26.0	26.2	0.7%	-26.5%
うち株式委託手数料	92.6	67.4	17.6	17.6	14.4	11.8	12.2	3.5%	-30.4%
うち投資信託募集手数料	68.4	43.5	11.1	11.6	6.5	7.5	6.4	-14.6%	-42.4%
販売報酬	58.4	44.0	11.9	11.4	9.1	10.4	10.9	4.7%	-7.9%
投資銀行業務手数料等	20.4	19.0	5.6	6.1	2.8	3.5	3.2	-6.0%	-41.8%
投資信託残高報酬等	89.0	109.3	28.0	28.7	26.4	26.8	27.6	2.9%	-1.3%
純金融収益等	13.4	17.2	4.2	4.6	4.4	4.7	4.5	-3.2%	8.9%
収益合計(金融費用控除後)	368.8	328.0	85.2	87.4	70.5	71.4	72.5	1.5%	-14.9%
金融費用以外の費用	276.5	268.7	68.2	69.3	65.3	66.5	67.0	0.8%	-1.8%
税前利益	92.3	59.2	17.0	18.0	5.2	4.9	5.5	11.6%	-67.7%
国内投信販売金額 ¹	2,965.5	2,197.0	532.1	604.6	425.7	506.3	479.6	-5.3%	-9.9%
株式投信	2,647.3	1,931.5	477.9	530.4	335.1	374.8	351.0	-6.4%	-26.6%
外国投信	318.2	265.5	54.2	74.2	90.7	131.5	128.6	-2.2%	137.4%
その他									
年金保険契約累計額(期末)	3,610.2	3,818.9	3,723.3	3,787.3	3,818.9	3,874.7	3,945.4	1.8%	6.0%
個人向け国債販売額 (約定ベース)	486.6	618.6	101.1	180.0	177.8	167.7	93.7	-44.1%	-7.2%
リテール外債販売額	728.3	643.0	167.9	204.3	100.6	160.8	279.6	73.9%	66.5%

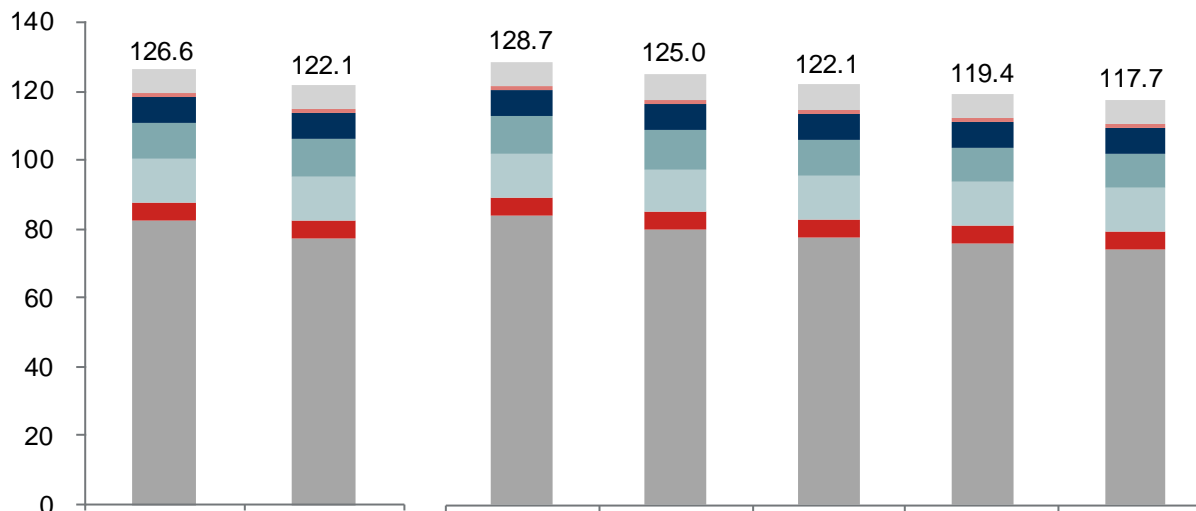
1. 旧ネット&コールを含む

営業部門関連データ(2)

営業部門顧客資産残高

(兆円)

- その他
- 外国投信
- 公社債投信
- 株式投信
- 国内債券
- 外貨建債券
- エクイティ



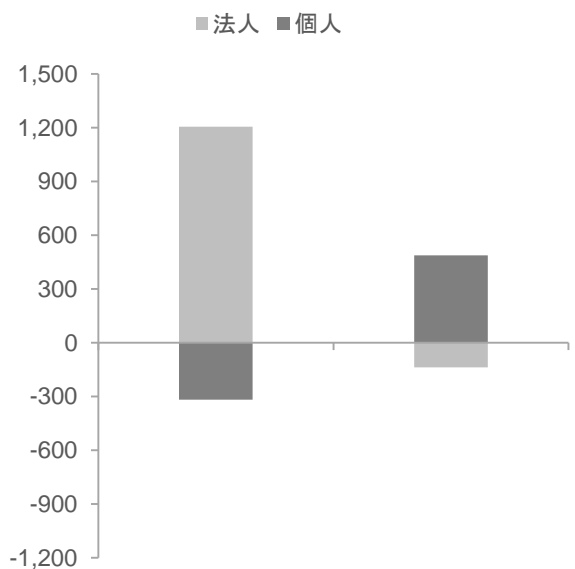
	2021年	2022年	2022年3月期			2023年3月期	
	3月期	3月期	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末
	3月末	3月末					
エクイティ	82.3	77.5	84.1	79.7	77.5	75.7	74.0
外貨建債券	5.4	5.1	5.3	5.2	5.1	5.3	5.4
国内債券 ¹	12.7	12.6	12.6	12.6	12.6	12.7	12.9
株式投信	10.2	10.8	10.9	11.3	10.8	10.0	9.8
公社債投信	8.0	7.5	7.8	7.8	7.5	7.4	7.2
外国投信	1.1	1.3	1.2	1.2	1.3	1.3	1.2
その他 ²	6.9	7.3	6.9	7.2	7.3	7.1	7.2
合計	126.6	122.1	128.7	125.0	122.1	119.4	117.7

1. CB・ワラントを含む 2. 年金保険契約資産残高を含む

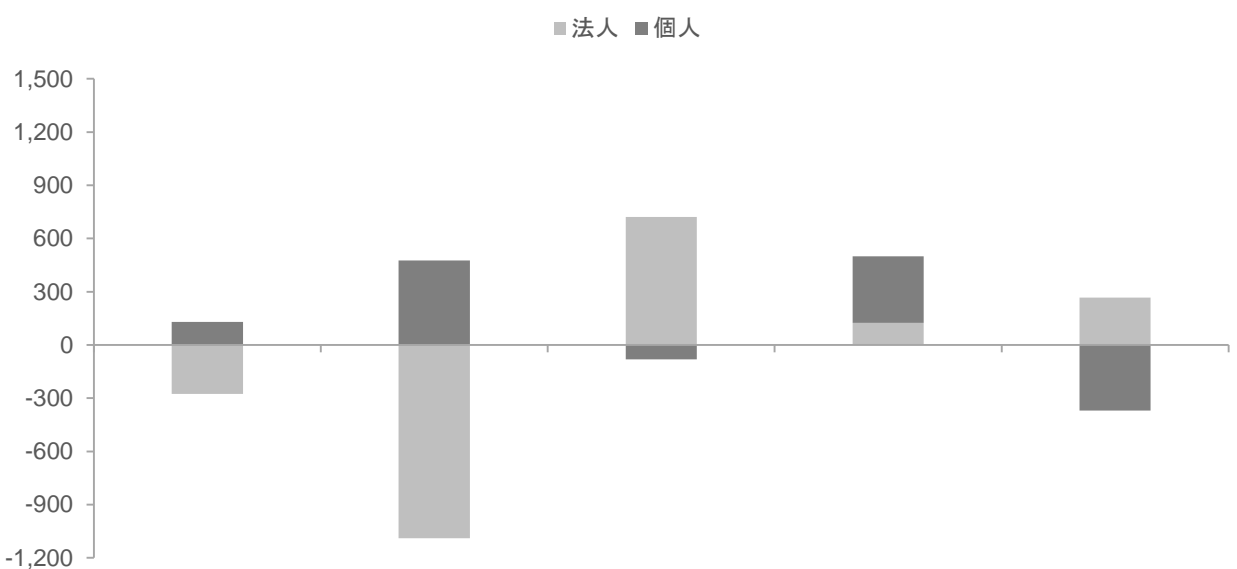
営業部門関連データ(3)

現金本券差引¹

通期



四半期



(10億円)	2021年3月期	2022年3月期
法人 ²	1,205	-136
個人 ³	-318	488
合計	888	351
入金預り ⁴	3,799	4,180

(10億円)	2022年3月期			2023年3月期	
	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
法人 ²	-277	-1,089	722	125	267
個人 ³	130	475	-82	376	-369
合計	-146	-613	641	500	-102
入金預り ⁴	975	1,326	900	1,062	921

1. 現金および本券の流入から流出を差引
 2. 法人課(地域金融機関を除く)、国内のウェルス・マネジメント・グループを含む
 3. リテールチャネル、ネット&コール、仲介、職域、ほっとダイレクトを含む
 4. リテールチャネルのみ対象

営業部門関連データ(4)

口座数

(千口座)	2021年3月期	2022年3月期	2022年3月期			2023年3月期	
	3月末	3月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末
残あり顧客口座数	5,329	5,348	5,342	5,362	5,348	5,354	5,359
株式保有口座数	2,927	2,955	2,923	2,949	2,955	2,958	2,957
NISA開設口座数(累計) ¹	1,791	1,589	1,828	1,839	1,589	1,598	1,609
オンラインサービス口座数	4,895	5,067	5,004	5,036	5,067	5,102	5,136

個人新規開設口座数・IT比率²

(千口座)	通期		四半期				
	2021年 3月期	2022年 3月期	2022年3月期			2023年3月期	
			2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
個人新規開設口座数	203	201	50	51	49	48	48
IT比率 ²							
売買件数ベース	80%	83%	84%	83%	85%	85%	86%
売買金額ベース	53%	59%	59%	58%	60%	59%	60%

1. ジュニアNISAを含む
2. 現物株のうち、オンラインサービスを通じて売買された割合

インベストメント・マネジメント部門関連データ(1)

(10億円)	通期		四半期						前四 半期比	前年 同期比
	2021年 3月期	2022年 3月期	2022年3月期			2023年3月期				
			2Q	3Q	4Q	1Q	2Q			
事業収益	111.9	119.9	29.3	31.5	31.1	30.7	29.9	-2.5%	2.2%	
投資損益	51.2	28.1	5.1	8.6	-21.1	-23.1	-3.7	-	-	
収益合計(金融費用控除後)	163.2	148.0	34.3	40.1	10.1	7.6	26.2	3.5x	-23.8%	
金融費用以外の費用	72.1	76.5	19.3	19.8	18.9	19.3	20.6	6.9%	6.8%	
税前利益(損失)	91.0	71.5	15.0	20.4	-8.8	-11.7	5.6	-	-63.1%	

運用資産残高 - 会社別

(兆円)	2021年	2022年	2022年3月期			2023年3月期	
	3月期	3月期	3月期		3月期		
	3月末	3月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末
野村アセットマネジメント	66.2	69.6	69.3	70.1	69.6	67.4	66.6
ノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネジメント他	3.3	3.9	3.8	3.9	3.9	3.7	3.9
運用資産残高(グロス) ¹	69.5	73.5	73.1	74.0	73.5	71.1	70.5
グループ会社間の重複資産	4.8	5.5	5.4	5.5	5.5	5.5	5.7
運用資産残高(ネット) ²	64.7	67.9	67.8	68.5	67.9	65.6	64.8

1. 野村アセットマネジメント、ノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネジメント、ウエルス・スクエアの運用資産並びに野村メザニン・パートナーズ、野村キャピタル・パートナーズ及び野村リサーチ・アンド・アドバイザーに対する第三者による投資額の合計
 2. 運用資産残高(グロス)から重複資産控除後

インベストメント・マネジメント部門関連データ(2)

インベストメント・マネジメント部門 資金流入－ビジネス別^{1,2}

(10億円)	通期		四半期				
	2021年 3月期	2022年 3月期	2022年3月期			2023年3月期	
			2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
投資信託ビジネス	2,753	1,236	267	250	372	478	137
うちETF	2,241	683	-28	-15	383	323	-5
投資顧問・海外ビジネス他	-883	830	772	110	-180	-928	89
資金流入 合計	1,870	2,066	1,039	360	193	-450	226

国内公募投信残高推移と野村アセットマネジメントのシェア³

(兆円)	2021年		2022年		2022年3月期			2023年3月期	
	3月期		3月期		9月末	12月末	3月末	6月末	9月末
	3月末	3月末	3月末	3月末					
国内公募投信残高									
マーケット	151.0	163.1			160.4	164.5	163.1	156.7	155.0
野村アセットマネジメントシェア	28%	27%			27%	27%	27%	27%	27%
国内公募株式投信残高									
マーケット	136.2	148.9			145.9	150.0	148.9	142.3	140.9
野村アセットマネジメントシェア	26%	25%			26%	25%	25%	26%	25%
国内公募公社債投信残高									
マーケット	14.8	14.2			14.6	14.5	14.2	14.3	14.1
野村アセットマネジメントシェア	44%	44%			44%	44%	44%	44%	44%
ETF残高									
マーケット	60.6	61.8			63.4	62.4	61.8	59.6	57.9
野村アセットマネジメントシェア	44%	44%			44%	44%	44%	44%	44%

1. 運用資産残高(ネット)に基づく資金流入

2. 2023年3月期1Qに運用資産残高及び資金流入の測定方法を見直したことに伴い、過年度の数値を組み替えて表示

3. 出所: 投資信託協会

ホールセール部門関連データ

(10億円)	通期		四半期						前四 半期比	前年 同期比
	2021年 3月期	2022年 3月期	2022年3月期			2023年3月期				
			2Q	3Q	4Q	1Q	2Q			
収益合計(金融費用控除後)	691.4	703.1	172.7	202.7	194.9	199.0	205.5	3.3%	19.0%	
金融費用以外の費用	627.1	628.6	147.7	161.9	157.9	173.7	185.3	6.7%	25.5%	
税前利益(損失)	64.3	74.5	25.0	40.8	37.0	25.3	20.2	-20.1%	-19.1%	

ホールセール部門 収益の内訳

(10億円)	通期		四半期						前四 半期比	前年 同期比
	2021年 3月期	2022年 3月期	2022年3月期			2023年3月期				
			2Q	3Q	4Q	1Q	2Q			
フィクスト・インカム	441.9	326.9	70.7	88.0	80.1	112.6	115.6	2.6%	63.4%	
エクイティ	133.6	229.5	66.5	75.8	78.1	62.6	61.9	-1.2%	-6.9%	
グローバル・マーケット	575.5	556.4	137.2	163.8	158.2	175.3	177.5	1.3%	29.3%	
インベストメント・バンキング	115.8	146.6	35.4	38.9	36.7	23.7	28.0	18.1%	-21.0%	
収益合計(金融費用控除後)	691.4	703.1	172.7	202.7	194.9	199.0	205.5	3.3%	19.0%	

	2021年	2022年	2022年3月期			2023年3月期	
	3月期	3月期	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末
	3月末	3月末					
日本	15,330	15,213	15,393	15,299	15,213	15,503	15,384
欧州	2,769	2,820	2,811	2,817	2,820	2,811	2,869
米州	2,152	2,257	2,171	2,181	2,257	2,252	2,358
アジア・オセアニア ¹	6,151	6,295	6,216	6,259	6,295	6,407	6,520
合計	26,402	26,585	26,591	26,556	26,585	26,973	27,131

1. インド(ボワイ・オフィス)を含む

Disclaimer

本資料は、野村ホールディングス株式会社が、米国会計基準による2023年3月期第2四半期に関する情報の提供を目的として作成したものです。

本資料は、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的として作成されたものではありません。売付または買付の勧誘は、それぞれの国・地域の法令諸規則等に則って作成・配布される募集関連書類または目論見書に基づいて行われます。

本資料に掲載されている情報や意見は、信頼できると考えられる情報源より取得したものです。その情報の正確性及び完全性を保証または約束するものではありません。なお、本資料で使用するデータ及び表現等の欠落、誤謬、本情報の使用により引き起こされる損害等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。

本資料の一切の権利は別段の記載がない限り野村ホールディングス株式会社に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、当社の書面による承諾を得ずに複製または転送等を行わないようお願いいたします。

本資料は、将来の予測等に関する情報(「将来予測」)を含む場合があります。また当社の経営陣は将来予測に関する発言を行うことがあります。これらの情報は、過去の事実ではなく、あくまで将来の事象に対する当社の予測にすぎず、その多くは本質的に不確実であり、当社が管理できないものであります。実際の結果や財務状態は、これらの将来予測に示されたものとは、場合によっては著しく異なる可能性があります。したがって、将来予測は、過度に信頼すべきではなく、不確実性やリスク要因をあわせて考慮する必要がある点にご留意ください。実際の結果に影響を与える可能性がある重要なリスク要因としては、経済情勢、市場環境、政治的イベント、投資家のセンチメント、セカンダリー市場の流動性、金利の水準とボラティリティ、為替レート、有価証券の評価、競争の条件と質、取引の回数とタイミング等が含まれるほか、当社ウェブサイト(<https://www.nomura.com>)、EDINET(<https://info.edinet-fsa.go.jp/>)または米国証券取引委員会(SEC)ウェブサイト(<https://www.sec.gov>)に掲載されている有価証券報告書等、SECに提出した様式20-F年次報告書等の当社の各種開示書類にもより詳細な記載がございますので、ご参照ください。

なお、本資料の作成日以降に生じた事情により、将来予測に変更があった場合でも、当社は本資料を改訂する義務を負いかねますのでご了承ください。

本資料に含まれる連結財務情報は、監査対象外とされております。

Nomura Holdings, Inc.

www.nomura.com/jp/